

最終更新日：2006年5月31日

## 曾田香料株式会社

代表取締役社長 光安哲夫

問合せ先：総務部 TEL:03-5645-7340

証券コード:4965

<http://www.soda.co.jp>

当社のコーポレート・ガバナンスの状況は以下のとおりです。

## I コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方及び資本構成、企業属性その他の基本情報

## 1. 基本的な考え方

当社は、企業価値の向上を達成するためには、すべての法令を誠実に遵守し、経営の効率性と適法性を確保し、コーポレート・ガバナンス体制を充実させることが、企業経営上極めて重要であると考えております。

当社は、適時かつ適切な情報の開示に努めており、経営活動に対する透明性の向上と、コンプライアンス及び監視機能の強化を図るとともに、内部統制やリスク管理を徹底して、コーポレート・ガバナンスの充実に努めております。そして、変化の激しい経営環境に対処するため、取締役会及び経営会議(原則毎週開催)においてグループ経営全般の重要事項を迅速に決定し、効率的かつ透明性の高い経営に努めております。

当社は、法令遵守を徹底し、地域社会への貢献や環境問題への対応など、企業の社会的責任(CSR)の推進を企業経営の最優先課題として取り組んでおり、このため社長を委員長とし全部門長を委員とするCSR委員会を設置し、全社的なCSR推進活動を行なっております。

当社は、コンプライアンス経営を強化するため、常勤取締役を構成メンバーとし、常勤監査役がオブザーバーとして出席する倫理委員会を設置しており、その下に全社法令遵守委員会、全社人権推進委員会を設置して、企業に課せられた社会的責任(CSR)の重要項目である企業倫理や法令遵守の徹底を図っております。そして、職制を通じた活動を更に強化するため、その下部機構として各事業所・工場等に法令遵守委員会、人権推進委員会を設置し、運営しております。

当社は、製品の安全面への対処を徹底し、リスクの顕在化を未然に防止するため、製品の安全性に関する重要事項を審議する製品安全委員会を設置し、製品に関わるリスク情報の収集と危機発生の予防・抑制に努めております。また、同委員会の下部組織として活動している製品安全性審査会が適切に運営され機能しているかを管理・監督しております。

当社は、監査役制度を採用しております。監査役会は4名で構成されており、常勤監査役2名、非常勤の社外監査役2名であります。監査役は、取締役会及び経営会議への出席や重要書類の閲覧を通して、取締役の職務執行状況の適法性について監査しております。また、監査役は、会計監査人や監査部との連携を密にして、的確な監査を実施するよう努めております。

## 2. 資本構成

外国人株式所有比率

10%未満

## 【大株主の状況】

氏名または名称	所有株式数(株)	割合(%)
東レ株式会社	5,001,250	50.01
三井物産株式会社	1,500,000	15.00
曾田香料従業員持株会	517,380	5.17

氏名または名称	所有株式数(株)	割合(%)
曾田義信	361,140	3.61
谷本正敏	210,900	2.10
第一生命保険相互会社	120,000	1.20
東京海上日動火災保険株式会社	100,000	1.00
仙波糖化工業株式会社	95,000	0.95
モルガンスタンレーアンドカンパニーインターナショナルリミテッド	51,000	0.51
三井住友海上火災保険株式会社	50,000	0.50

### 3. 企業属性

上場取引所及び市場区分	ジャスダック
決算期	3月
業種	化学
(連結)従業員数	100人以上500人未満
(連結)売上高	100億円以上1000億円未満
親会社	東レ株式会社(上場:東京 大阪 名古屋 福岡 札幌 海外)
連結子会社数	10社未満

### 4. その他コーポレート・ガバナンスに重要な影響を与えうる特別な事情

当社の親会社は東レ株式会社であり、当社は同社の連結対象子会社であります。当社グループは、各種香料及び合成香料等を製造・販売しており、主に東レグループ以外の一般企業との取引となっております。当社は業務執行にあたっては、当社グループの事業領域における外部環境や業界構造を踏まえ、自ら経営責任を持って企業経営を行っております。当社は今後も親会社の企業グループと協力関係を維持する方針ですが、親会社からの事業上の制約は無く、独自に事業活動を行っており、親会社からの一定の独立性は確保されているものと認識しております。

## II 経営上の意思決定、執行及び監督に係る経営管理組織その他のコーポレート・ガバナンス体制の状況

### 1. 機関構成・組織運営等に係る事項

組織形態	監査役設置会社
------	---------

#### 【取締役関係】

取締役会の議長	社長
取締役の人数	7名
社外取締役の選任状況	選任している
社外取締役の人数	1名

#### 会社との関係(1)

氏名	属性	会社との関係(※1)								
		a	b	c	d	e	f	g	h	i
益崎 悟	他の会社の出身者	○			○	○		○		

※1 会社との関係についての選択項目

- a 親会社出身である
- b その他の関係会社出身である
- c 当該会社の株主である
- d 他の会社の社外取締役又は社外監査役を兼任している
- e 他の会社の業務執行取締役、執行役等である
- f 当該会社又は当該会社の特定関係事業者の業務執行取締役、執行役等の配偶者、三親等以内の親族その他これに準ずる者である
- g 当該会社の親会社又は当該親会社の子会社から役員としての報酬等その他の財産上の利益を受けている
- h 本人と当該会社との間で責任限定契約を締結している
- i その他

#### 会社との関係(2)

氏名	適合項目に関する補足説明	当該社外取締役を選任している理由
益崎 悟	東レ株式会社 代表取締役専務取締役関連事業本部長	経営体制強化のため、当社から社外取締役として就任を要請しております。

#### その他社外取締役の主な活動に関する事項

当社は親会社との間で経営情報を共有化するため、親会社である東レ株式会社の代表取締役専務取締役関連事業本部長益崎悟氏が非常勤の社外取締役に就任しております。なお、同氏からは適宜、取締役会にて経営体制強化のために適切な発言をいただいております。

## 【 監査役関係 】

監査役会の設置の有無	設置している
監査役の人数	4名

## 監査役と会計監査人の連携状況

当社は監査役制度を採用しております。監査役は、取締役会・経営会議への出席や重要書類閲覧を通して経営の監視を行ない、会計監査人との連携を密にしている確かな監査に努めています。監査役と会計監査人とは年3回定期的な会合を行ない、監査計画や監査体制を協議し、会計監査人から決算時での監査実施状況の報告を受けております。また、監査役は会計監査人が行なう各事業所・工場等での期中監査・実地棚卸にも同行し、現地にて監査実施報告を受けております。

## 監査役と内部監査部門の連携状況

内部監査部署として社長直轄の監査部が設置されており、内部監査規程に基づき業務執行が適正かつ効率的に行なわれているかを検証しております。監査部は、期初に策定した内部監査計画に基づいて、各部門・各工場及び子会社等の監査を定期的に実施し、評価・指導しております。監査結果については、社長並びに被監査部門長と監査役に報告しております。監査役は、監査部との連携を密にして、業務執行状況の的確な監視を行なっております。

社外監査役の選任状況	選任している
社外監査役の人数	2名

## 会社との関係(1)

氏名	属性	会社との関係(※1)								
		a	b	c	d	e	f	g	h	i
森 良幸	他の会社の出身者	○			○					
秋田 大三郎	他の会社の出身者		○		○					

※1 会社との関係についての選択項目

- a 親会社出身である
- b その他の関係会社出身である
- c 当該会社の大株主である
- d 他の会社の社外取締役又は社外監査役を兼任している
- e 他の会社の業務執行取締役、執行役等である
- f 当該会社又は当該会社の特定関係事業者の業務執行取締役、執行役等の配偶者、三親等以内の親族その他これに準ずる者である
- g 当該会社の親会社又は当該親会社の子会社から役員としての報酬等その他の財産上の利益を受けている
- h 本人と当該会社との間で責任限定契約を締結している
- i その他

## 会社との関係(2)

氏名	適合項目に関する補足説明	当該社外監査役を選任している理由
森 良幸	東レ株式会社関連事業本部関連業務部長	業務運営・管理適正化のため、当社から就任を要請しております。
秋田 大三郎	三井物産株式会社化学品第一本部機能性化学品部長	業務運営・管理適正化のため、当社から就任を要請しております。

## その他社外監査役の主な活動に関する事項

社外監査役は、監査役会で決められた監査方針に基づき、取締役会へ出席するとともに、当社及び関係会社への監査を実施し

ております。なお、両氏からは適宜、取締役会・監査役会にて業務運営・管理適正化のために適切な発言をいただいております。

### 【 インセンティブ関係 】

取締役へのインセンティブ付与に関する  
施策の実施状況

実施していない

#### 該当項目に関する補足説明

当社は、企業として社会的責任を果たしつつ堅実な発展を目指すという基本精神に基づき、長期的な企業価値の向上に努めております。従いまして、短期・性急な経営に陥らぬよう取締役へのインセンティブ付与に関する施策については現在実施しておりません。

### 【 取締役報酬関係 】

開示手段

有価証券報告書、決算短信

開示状況

全取締役の総額を開示

#### 該当項目に関する補足説明

平成 18 年3月期の取締役および監査役に対する役員報酬は、取締役 111,836 千円、監査役 27,126 千円、合計 138,963 千円となっております。

### 【 社外取締役(社外監査役)のサポート体制 】

取締役会事務局は総務部が担当し、社外取締役・社外監査役に対して1年間の開催予定・予定議題の通知、資料の配付等を行っております。

## 2. 業務執行、監査・監督、指名、報酬決定等の機能に係る事項

当社は、取締役会による業務執行状況の監督、監査役会による監査を軸に経営監視体制を構築しております。取締役会は、取締役7名(うち、社外取締役1名)で構成しており、会社法等で定められた事項及び経営に関する重要事項について決議・報告を行っております。経営会議は社長と常勤取締役、常勤監査役及び関係部門長で構成され、原則毎週開催されており、経営上重要な業務執行事項や諸課題を迅速に審議・報告し、社長及び取締役会を補佐しております。この他、部門毎の部・所長を交えた業績報告会議も各部門で毎月開催しており、部門長と部・所長の意思の疎通と指示の浸透を図っております。

会計監査人は中央青山監査法人(指定社員業務執行社員 公認会計士 杉岡喜幸氏、指定社員業務執行社員 公認会計士 布施木孝叔氏)であり、継続関与年数は7年以内であります。期末に当社グループに関する旧商法監査及び証券取引法監査を受けているほか、期中監査も実施されており、適正な会計処理や内部統制についても助言を受けております。当社グループは会計監査人に対して、正確な経営情報・財務情報を提供しております。

### III 株主その他の利害関係者に関する施策の実施状況

#### 1. 株主総会の活性化及び議決権行使の円滑化に向けての取組み状況

	補足説明
株主総会招集通知の早期発送	株主総会開催日の18日前を基本として発送日を設定しております。
集中日を回避した株主総会の設定	株主総会集中日の2日前を基本として開催日を設定しております。

#### 2. IRに関する活動状況

	代表者自身による説明の有無	補足説明
アナリスト・機関投資家向けに定期的説明会を開催	あり	年2回(決算期、中間期)、社長を説明者とする説明会を開催しております。
IR資料のホームページ掲載	なし	決算短信、有価証券報告書等の発表資料については自社ホームページへ掲載しております。また、定期的説明会資料については、ジャスダックホームページへ掲載しております。
IRに関する部署(担当者)の設置	—	個人投資家に対する窓口は総務部に担当者を設置し、機関投資家に対する窓口は経理部に担当者を設置しております。

#### 3. ステークホルダーの立場の尊重に係る取組み状況

	補足説明
社内規程等によりステークホルダーの立場の尊重について規定	平成17年3月制定のCSRガイドラインの中で、ステークホルダーの立場の尊重に関して、「ステークホルダーとの対話の促進」を掲げております。
環境保全活動、CSR活動等の実施	国内全工場で「ISO14001」の認証を取得し、環境保全活動を推進しております。また、CSR活動については、社長を委員長とし全部門長を委員とするCSR委員会を設置し、全社的な推進活動を行っております。

## Ⅳ 内部統制システムに関する基本的な考え方及びその整備状況

当社は、取締役の職務執行の適法性と、当社業務の適正性を確保するために必要な体制として「内部統制システム」を整備し、その確立を図っております。それら体制の一部につき、その整備状況を下記いたします。また、あわせて全体の模式図を添付いたします。

### (1) コンプライアンス体制の整備状況

- ・「倫理委員会」、その下部機構として「全社法令遵守委員会」、そして各部門、支社、支店、工場毎の「法令遵守委員会」を設置し、企業倫理・法令遵守を推進しております。
- ・企業倫理・法令遵守を推進・徹底するため、遵守すべき具体的行動基準として「企業倫理・法令遵守行動規範」を制定しております。
- ・企業倫理・法令遵守に関するより詳細な留意事項などを説明した「企業倫理・法令遵守ガイドライン」を策定しております。
- ・取締役及び使用人が法令・定款等に違反する行為を発見した場合の「内部通報体制」を構築しております。
- ・内部監査を担当する部署として「監査部」を設置し、「内部監査規程」に従って監査を実施しております。

### (2) 情報管理体制の整備状況

- ・経営意思決定に係る議事録・財務情報等の重要文書・情報の保存・管理につき定め、関連資料と共に保管し、必要に応じて閲覧可能な状態を維持しております。
- ・秘密情報の保護については、管理責任者を明確にして管理を徹底するとともに、外部からの不正アクセス防止措置を講じております。
- ・個人情報保護への対応として、「個人情報管理規程」を制定し、「個人情報の保護方針」「社内の情報管理体制」及び「従業員の役割」を定めております。

### (3) 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制の整備状況

- ・意志決定の規程として「職務権限規程」を定め、取締役会、社長をはじめとする各職制の決裁権限を規定しております。
- ・効率的な職務執行のために、取締役会決議と社長決裁に向けての審議機関として「経営会議」を設置し、方針と実行の審議を行っております。
- ・CSR委員会と共に経営執行の補完的役割を果たすものとして、重要経営テーマ毎に全社委員会・会議を設置しております。
- ・取締役会は各取締役の業務担当を定め、各取締役は自らの担当組織の長を管理・監督しております。
- ・各組織の業務分掌を定めるものとして「業務分掌規程」を制定しております。

### (4) 曾田グループにおける業務の適正を確保するための体制の整備状況

- ・曾田グループ各子会社においても、当社の「経営理念」「企業倫理・法令遵守行動規範」等の基本的な考え方を共有しております。
- ・曾田グループ各子会社について、重要案件に関する当社への報告および協議のルールを定め、グループ全体としての効率性を追求しております。
- ・監査役および監査部は、定期監査・内部監査を実施し、曾田グループ各子会社の業務遂行の適法性・妥当性・効率性をチェックしております。

参考資料「模式図」: 巻末「添付資料」をご覧ください。

## V その他

---

### 1. 買収防衛に関する事項

---

### 2. その他コーポレート・ガバナンス体制等に関する事項

本報告書記載の体制等については、今後も一層の充実・強化を図ってまいります。また、環境保全・CSR活動等の施策については社外に向けてその実績報告を行うことも今後検討してまいります。



【 参考資料：模式図 】

